

令和7年度 屋外展示

千葉の民俗芸能 - 房総獅子舞祭 -

千葉県立房総のむらでは、令和3年度に「千葉の民俗芸能」という県内の民俗芸能を網羅的に扱った展示を行いました。今年度はその中から「獅子舞」をピックアップした屋外展示を開催いたします。

調査を行う中で見えてきたのは「後継者不足」という大きな問題です。今回の屋外展示や特別上演を通して、民俗芸能を少しでも知ってもらう・興味を持ってもらう機会としたいです。

協力・出演団体

とりみ

鳥見神社の獅子舞

(印西市 県指定無形民俗文化財)

印西市平岡地区で行われている獅子舞で、文明年間（1469～1487）頃から大森鳥見神社（印西市大森）の祭礼で舞われていたものが延宝6年（1678）に伝わったといわれています。この獅子舞は、ジジ（親獅子）、セナ（子獅子）、カカ（雌獅子）によるいわゆる三匹獅子舞です。「弓くぐりの舞」「けんかの舞」「仲直り三角の舞」など各獅子舞の躍動的な舞が特徴です。昭和30年（1955）12月15日に県指定無形民俗文化財に指定されました。



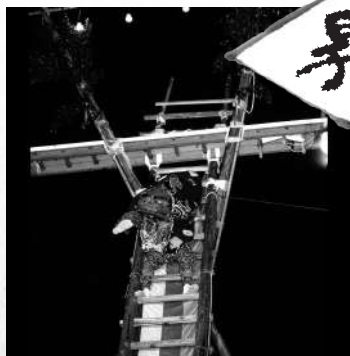
岩沼の獅子舞

(長生村 県指定無形民俗文化財)

長生郡長生村岩沼に伝わる2人立ちの獅子舞です。岩沼の獅子舞は約300年前から始まったといわれ、地区の氏神である皇産霊神社で奉納されてきました。

演目のなかでも「乱玉の舞」は大梯子の上に乗って曲芸的な振りをみせるこの獅子舞を特徴づけるもので、俗に梯子獅子舞として知られています。

昭和36年（1961）6月9日に県指定無形民俗文化財に指定されました。



ながたあさひれん

永田旭連の獅子舞

(大網白里市 市指定無形文化財)

永田の獅子舞は、伊勢の太神楽の系統で、慶長年間に隣村の萱場大村谷（現在の茂原市萱場）から伝わったといわれています。

代表的な演目で「お染獅子」というものがあり、「お染」と呼ばれる獅子が一生懸命に着飾って、舞い踊るという永田旭連の獅子舞特有の演目です。

昭和55年（1980）4月に大網白里市の無形民俗文化財に指定されました。



展示・特別上演について

- 展示会期 令和7年10月18日（土）～令和7年11月24日（月・振）
- 展示場所 房総のむら 上総の農家
- 特別上演 令和7年11月23日（日・祝）
- 展示場所 房総のむら おまつり広場

※特別上演のタイムスケジュールは、公式HP等で掲載いたします。

特別上演に
ぜひ来てね！



房総のむら
マスコットキャラクター
「ぼうじろー」

お問合せ 房総のむら 総屋総合案内所 ☎0476-95-3333

休館日：月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）

料金 入場料

一般 300円（240円） 中学生以下・65歳以上の方
高校・大学生 150円（120円） 障がい者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料

アクセス（車）東関東自動車道 成田ICから成田市街へ直進約3km

（電車・バス）JR成田駅西口、4番乗り場から「竜角寺台車庫」行きバス約20分

「竜角寺台2丁目」下車、徒歩10分 ※他の電車・バスルートについては公式HPをご覧ください

